

## (5)「子育て世代の防災イベント参加」

### 事業名 『わくわく親子防災ハロウィン2021』

実施団体 名称 社会福祉法人下妻市社会福祉協議会

所在地 下妻市本城町3-36-1 下妻公民館 1F

メール fureai@st-shakyo.jp

TEL 0296-44-0142

記入者 近藤 由紀子

### 1 ねらい

市防災訓練や、防災に関するイベント、研修会への参加者の多くは高齢者が占めており、子育て世代の参加率は低く、防災に関する情報量も少ないことを認識。子育て世代が防災に関心を持つことが減災にもつながると考え、防災に関する意識調査を実施。その結果を基に、乳幼児・未就学児を持つ子育て世代に特化した防災イベントを開催し、日頃からの備えの大切さを考えるきっかけをつくる。さらに、地域で活動している多様な団体と連携・協働しイベントを開催することで、災害時にも生かせるネットワークの構築を目指す。

### 2 事業内容（活動内容）

- ・日 時 令和3年10月30日(土)
- ・場 所 Waiwaiドームしもつま
- ・内 容

#### ハロウィンパレード

講演会 防災ママカフェ@下妻

～子どものいのちを守れるママになろう～

講 師 防災ママカフェ®主宰／防災士 かもんまゆ

#### スタンプラリー

- 1 応援土のう作り・初心者ボランティアHOW TO！ …… (shi♡shimai)
- 2 新聞紙で作ろう！スリッパ&食器 …… (ガールスカウト)
- 3 簡単雨具！フード付きポンチョ作り …… (つくるん)
- 4 親子で体験！防災サバイバルゲーム …… (下妻母親クラブ)
- 5 親子で備える防災情報 …… (でこぼこキッズ)
- 6 多言語防災パンフレット配布 …… (しもつま外国人支援ネットTOMODACHI)
- 7 ムービングハウス展示 …… (鈴木鉄工建設株)
- 8 段ボールベッド&マンホールトイレをみてみよう！ …… (下妻市 危機管理室)
- 9 備蓄品の展示&非常食試食・赤い羽根共同募金街頭PR・アンケート …… (社協)

- ・講演会終了後、「見て知る」「体験して学ぶ」9種類のワークショップをスタンプラリー形式でまわり、ハロウィンの雰囲気を楽しみながら親子で防災について学ぶ。
- ・アンケートの集計結果をもとに、子育て世代が必要としている情報を提供する。
- ・日頃から孤立することなく地域で安心した子育てができるよう、市内で活動している団体を知る。



マリオ局長を先頭にハロウィンパレード

### 3 成果・効果

- 子どもから大人まで楽しみながら防災について学び、普段の生活でも防災意識を高められるような内容にすることで、日ごろの防災対策を見直し、意識するきっかけを作ることができた。
- 行政の参加により実際に避難所で使用する段ボールベッドや間仕切り、配布される保存食の現物を子育て世代が知ることができた。
- 地域住民が主体となりイベントを開催することができた。また、個々に活動していた団体の横の繋がりができた。

### 4 今後の課題

- コロナ禍での開催のため感染対策を講じたが、300名を超える来場者数となり密集を回避することは困難であった。
- 今回のイベントを通じて、新たな繋がりができ、さらに地域住民が一体となり、計画段階からの協働で開催することができた。今後も地域に対し、様々な福祉課題を取り入れながら、地域住民の視点から福祉教育を企画して継続的な取り組みを目指したいと思う。

#### ◆感想など

来場者をはじめ運営スタッフとして協力してくれた団体からも「楽しかった」「次回は親子に限定せず「みんなの」として開催してみてもいいな」と等と、次回に向けた前向きな意見が出るほど好評に終わり、社協としても負担感はなかった。

#### ◆連携団体やキーパーソン

- ・ガールスカウト茨城県第42団
- ・しもつま外国人支援ネットワークTOMODACHI
- ・不登校コミュニティしもつま
- ・社会につながる創作クラブつくるん♪
- ・Shi♡shimai
- ・下妻母親クラブ
- ・でこぼこキッズ凸凹親の会「にじいろ☆スマイル」
- ・鈴木鉄工建設(株)
- ・下妻市地域おこし協力隊
- ・災害ボランティア名のなき団体
- ・NPO法人セカンドリーグ茨城
- ・下妻市



団体の方に作ってもらったリーフレット



↑運営スタッフとして協力してくれた団体の皆さん

←社協ブースの子供向けの非常食と備蓄品展示コーナー

## ◆準備からふりかえりまで

## 令和2年度

1月28日～3月15日

NPO法人セカンドリーグ協力のもと子育て世代の防災に関する意識調査を実施

## 令和3年度

4月…地域で子育てに関する活動をしている3名に声をかけ、アンケート集計結果を基に雑談会。

5月…セカンドリーグよりイベント開催に向けアドバイスをもらう。

6月…アンケートの集計結果を社協広報誌「ふくしものがたり」と社協HPに掲載し、日頃の備えの大切さを広く周知する。……………

## 7月

## ・第1回防災イベント打合せ

イベントの趣旨を伝え協力を求める。…………… 3団体より3名が参加

## 8月

## ・第2回防災イベント打合せ……………

趣旨・方向性を伝え情報と認識を共有するイベントの概要が決まる。  
次回までに団体ごとに話し合ってもらおう。

・ブースで催す内容

・必要物品や予算

## ・第3回防災イベント打合せ……………

タイムスケジュールとブース内容が決まる。  
コロナ感染状況によりフードカーを検討する。  
チラシの作成。

## 9月

## ・第4回防災イベント打合せ……………

チラシの最終確認。  
各団体の進捗状況の確認・情報を共有する。

## ・第5回防災イベント打合せ

イベントの最終確認。  
・当日の流れ／役割分担／会場配置  
・来場者への感染症対策の再確認

## 9月30日～

チラシ配布開始。……………  
様々なツールを使ってイベントをPR。

## 10月30日…イベント開催……………

## 11月…リフレクション…（反省会）



3人の子育てママに協力頂き、自宅に備えてある非常用持ち出し袋を展示し、講師からのアドバイスを掲載。

アンケート項目の「子育て世代が日頃から思う不安なこと、の自由記載欄」に書かれた多くの意見に対し、下妻市危機管理室より回答を頂き掲載しました。

3団体より3名が参加

団体が知り合いの団体に声をかけ、9団体の代表者が参加

チラシ作りが得意な団体の方をお願いする。  
別刷りで会場案内図も作成。裏面を利用し、参加団体の日頃の活動内容を紹介する。

## —社協より—

- ・市商工観光課 ハロウィンの装飾品を借りる。
- ・市消防交通課 イベントへ参加協力依頼
- ・市秘書課 プレスリリースを依頼
- ・保健センター コロナ感染症対策について相談→フードカーを断念する。

## —社協より—

市広報誌・社協広報誌等へ掲載。  
市子育て支援課・市教育委員会を通じて  
保育所等へチラシ配布依頼する。  
SNSを通じては団体にお任せ。

ハロウィンの雰囲気を崩さないよう、オープニングセレモニーでは局長自らスーパーマリオに扮して挨拶。司会役は団体より選出。